

## 口は健康のもと Vol.93

### いろいろある顎関節症の原因 その2

今回は顎関節症の原因のブラキシズムについてでしたが、今回はその他の原因についてです。

まずはストレス。ストレスには仕事や家庭、人間関係など色々なものがありますが、その精神的な緊張がくいしばりや夜間の歯ぎしりを起こすことで原因となります。

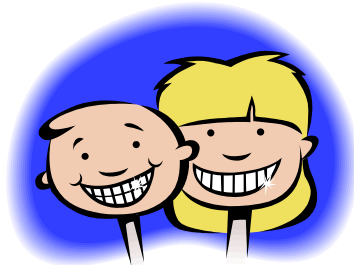
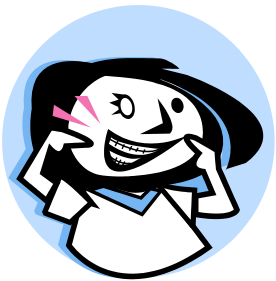
次に偏咀嚼。これは左右どちらか一方でばかり咬む癖のことをいい、極端な偏咀嚼は片側だけに多くの負担をかけることになり、発症の原因になります。ただし通常はほとんど問題になりません。

顎や筋肉に負担をかける癖や習慣、うつ伏せ寝、頬杖をつく癖、あごの下に電話をはさむ、猫背の姿勢なども原因になります。

また悪い咬み合わせも原因となることがあります。これは生まれ持った咬み合わせだけでなく、不適切な歯列矯正や歯科治療により生じる場合もあります。

歯の治療などで大きく口を開けたり顎や頸部頭などを強く打って顎関節や靭帯を損傷した場合も顎関節症となることがあります。

次回最終回は「顎関節症かなと思ったらどうする？」についてです。



奥羽大学歯学部附属病院 総合歯科

講師 竹内 操

